



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2019

No. 15 (2019年9月6日発行)

佐高 インスパイア ファイル

佐野市まちづくり ワークショップ！ 高1 まちづくりグループから6名参加

2019年8月7日(水) 13:00~17:00に、まちなか活性化ビル「佐野未来館」2階ギャラリーにて佐野市主催の佐野市まちづくりワークショップが行われました。本校からは高校1年生のまちづくりをテーマにしているグループから6名が参加することができました。ワークショップは4つのグループに分かれ、本校生はその3つのグループに2名ずつ参加しました。参加者はいろいろな世代からで、中学生、高校生、短・大学生、子育て世代、シニア、町会長さんがいらっしゃいました。それぞれの視点から、まちづくりに対する意見を熱く語ってくれました。本校生もグループの話し合いの結果を報告する場面では、自らグループの代表として話す生徒もいました。同じ世代と意見交換をすることは多くありますが、このように様々な世代の意見を聞くことができたことは、参加者にとって貴重な体験となりました。

<ワークショップの内容>

13:00~13:20 開会・オリエンテーション

13:30~15:40 グループワーク

「テーマ①地域ごとの現状や課題を共有しよう」

「テーマ②将来のまちづくりのあり方について考えよう」

15:50~16:50 まとめ・総評

17:00 閉会



私は今回初めてこのワークショップに参加しました。地図を使って考えを分かりやすくしたり、市役所の方のお話を聞いて、地域を結び付けていく拠点連結型都市構造に基づく今のまちづくりについて知ることができたりと、とても有意義な時間を過ごせました。たくさんの世代の方たちとたくさんの観点からまちづくりについて考えられ、普段はなかなか聞くことができない色々な意見が聞けたので、これからの課題研究に役立てていきたいです。
1年3組 川上 陽菜乃さん

自分の住んでいる地域の問題点に対して、様々な世代の方と話し合う機会はなかなかないので、このワークショップに参加して、貴重な体験をすることができました。長年住んでいる場所なのに、私の知らなかった地域の長所や特徴をたくさん知ることができたので、勉強になりました。今回学んだことを踏まえて、課題研究で地域の問題について考えて行きたいです。
1年3組 森川 綾音さん

普段の学校生活ではあまり関わることのできないたくさんの世代の方々と意見を出し合うことができてよかったです。私が一番驚いたのは、世代によって考える佐野市の問題点が違ったことです。例えば、同じ「公共施設がない」という問題点でも、中学・高校からは「自習スペースが少ない」、子育て世代からは「公園が少ない」と、それぞれ別の意見が出ました。世代が変わると、見える問題点が違うのだなと改めて実感しました。とても面白い体験でした！また機会があったら、参加してみたいです。
1年1組 飯塚 陽菜さん

街づくりのワークショップを体験して、様々な世代の様々な意見を聞くことができました。また、班の人と佐野の特徴や課題を話し合い、気づかなかったところまで確認することができました。世代の数だけ様々な種類の意見があり、これからのSGH活動に役立つだけでなく、日々の暮らしの見方も変わる経験をすることができました。今回得たものを無駄にしないようにしたいです。
1年3組 森本 剛斗

このワークショップに参加する前から、自分が日常生活を送る中で、街灯がなかったり、道路が破損しているところなど、普段感じていた身近な問題がいくつかありました。その感じたことを、今回のワークショップで話すことができて良かったです。他の人からも同じような意見がでて、うれしく思いました。解決しなければならない問題は、まだまだたくさんありますが、話し合いの機会を持てて良かったです。このような機会がまたあったら、ぜひ参加したいと思います。
1年2組 山野井 瑛音

